



I C A N N 77 政府諮問委員会 (GAC) 会合報告

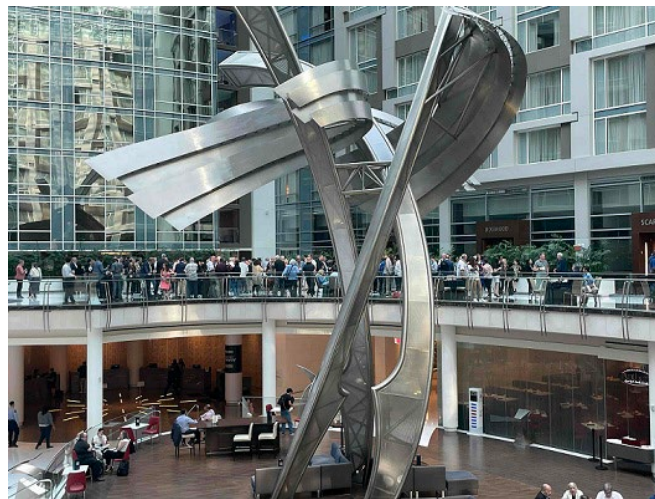
2023年8月1日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

課長補佐 望月 俊晴

目次

1. 政府諮問委員会(GAC)会合の概要
2. GAC会合での主な議題
 - (1)DNS不正利用
 - (2)新gTLDの次回ラウンド
 - (3)その他

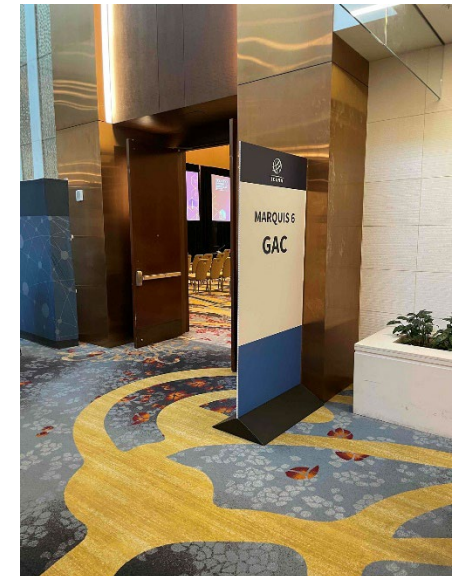


会場:Marriott Marquis Washington.D.C

1. 政府諮問委員会（GAC）会合の概要

- ① 開催日：2023年6月11日（日）～6月15日（木）
- ② 開催地：Washington.D.C
→ 現地とオンラインのハイブリッド開催
総務省（データ通信課）から、西潟課長及び森下官が現地参加
望月補佐が主要なGACセッションにオンライン参加
- ③ 参加国・機関：181の国・地域、38の団体（オブザーバー）が参加
- ④ 会合における主な議題
 - （1）DNS不正利用
 - （2）新gTLDの次回ラウンド
 - （3）Closed Generic gTLDs

等



2. 主な議題 (1) DNS不正利用

1. これまでの経緯（日本の関わり方も含む）

- 日本は、まんが海賊版対策の一環として、ICANN70（2021年3月@オンライン開催）以後、海賊版サイトのドメインホッピング※1に関する問題提起や対応の方向性について提案してきた。
- 前回会合（ICANN76（2023年3月@Cancun）会合では、ICANN理事会とCP(Contracted Parties：契約当事者)※2との間で、2022年12月にRA（レジストリ契約）やRAA（レジストラ認定契約）の条項の改善（improvement）に向けた交渉が開始されたことが紹介され、日本からICANNとCPの取組みを歓迎すると共に、RAAの条項3.18.1に定める「合理的かつ迅速な調査と対応のための措置」が行われていない現状を指摘し、あらためて本条項の解釈の明確化や条項の改善の必要性を主張し、GACコミュニケ（成果文書）にも日本の主張が記載された。
- 2023年5月29日から、ICANN理事会とCP間で交渉していたRA及びRAAの改正案のパブリックコメントが開始された※3。

※1 不正行為者がその行為を継続するため、同じレジストラから異なるドメインを取得する行為

※2 GNSO(一般名称ドメイン名支持組織)にあるレジストリやレジストラが所属するグループの総称

※3 2023年7月20日に締め切れ、全36件の意見が寄せられている。

2. 今回のセッション概要等

- DNS不正利用に関しては、関連するセッションにおいて、RA及びRAAの改定案の策定の経緯やその内容についての説明とともに、英国及び米国におけるDNS不正利用による被害の現状について説明があり、これらについての質疑応答・意見交換が行われた。
- 日本からは、RA及びRAAの改正案に関し、レジストリ及びレジストラは、ICANNとの契約において、インターネット上の悪意のある行動（maliciousconduct）や不法行為（illegalactivities）について報告等を受けた場合、これらが「DNS Abuse」の定義に該当するか否かに関わらず、その内容に応じて自ら必要があると判断した場合には、あくまで任意の措置として、ドメイン名の停止等の措置を講ずることが可能であることの確認を求め、ICANNコンプライアンス部門から、レジストリ及びレジストラとICANNとの契約において、こうした任意の措置を禁ずる条項はない旨の回答を得た。
- GACコミュニケ（成果文書）では、DNS不正利用セクションにおいて、日本の発言内容が文書に反映されている。

2. 主な議題 (1) DNS不正利用

3. ICANN77 GACコミュニケ (該当箇所抜粋、仮訳)

IV. Issues of Importance to the GAC

4. DNS Abuse

Governments at ICANN are concerned by the negative impacts of DNS Abuse. The GAC therefore appreciates the proactive and focused efforts of ICANN and the Contracted Parties to negotiate clear and enforceable contract amendments to disrupt or mitigate DNS Abuse.

The GAC welcomes the clarity provided during its DNS Abuse session that in case of non-compliance ICANN Compliance would be able to suspend or revoke the agreement with the contracted party, (以下略)

The GAC supports the increased contract obligations to raise the baseline in addressing DNS Abuse and looks forward to contributing to the Public Comment Process. (略) The GAC also reinforces its commitment to contribute to further work (including contract amendments, PDPs and creation of best practices) within the multistakeholder process that will be necessary in the continuing journey to address this threat to the security of the DNS, including before the next round of new gTLD applications.

GACは、ICANNと契約当事者が、DNSの不正利用を阻止または軽減するために、明確かつ強制力のある契約改正を交渉するための積極的かつ集中的な取り組みを高く評価する。

GACは、DNS不正利用セッションにおいて、コンプライアンス違反があった場合、ICANNコンプライアンス部門が契約当事者との契約を一時停止または凍結できるという明確な説明がなされたことを歓迎する。

GACはDNS不正利用へ対処する基準を引き上げるための契約におけるレジストリ・レジストラの義務が増えたことを支持し、パブリックコメントプロセスに貢献できることを楽しみにしている。(略) GACはまた、次の新gTLD申請の前も含め、DNSシステムのセキュリティに対する脅威へ対処するための継続的な対応が必要であり、マルチステークホルダー・プロセス内でのさらなる作業 (契約修正、PDP、ベストプラクティスの作成を含む) に貢献するとのコミットメントを強化する。

2. 主な議題 (2) 新gTLDの次回ラウンド

1. これまでの経緯

- ICANN理事会は、ICANN76の会合期間中に、新gTLDの次回申請のポリシーに関する最終報告書に記載されたICANN理事会に対する勧告を概ね採択。その上で、事務局に対し、2023年の8月1日までに当該最終報告書に基づくポリシーの実行計画の提出を指示した。
- ICANN理事会が決定を見送った項目（申請者サポートプログラム、PICs（Public Interest Commitments）やRVCs（Registry Voluntary Commitments）、GAC早期警告等）は、継続して議論することとなった。

2. 今回のセッション概要等

- ICANN理事会との合同セッションでは、理事会が最終報告書に記載された勧告のうち、決定を延期した項目について、次のとおりGACから質問を行い、理事会が回答した。
 - Q1 インターネット環境が未整備の地域への支援を拡大する申請者サポートプログラムの可能性はあるか。
 - A1 インターネット環境が未整備の地域への支援は不可欠、理事会も更に検討。
 - Q2 最終報告書にある申請者サポートプログラムの予算額は妥当なものか。
 - A2 予算額は2012年の申請時の金額を流用、プログラム内容や最適な支援策を検討後、適正額を算出。
 - Q3 PICsやRVCs実行のためのICANN Bylaws改正の可能性はあるか。
 - A3 PICs 及びRVCsを実施する上で契約による強制力を持たせるべく、BylawsなどICANNの契約細則の変更も含め検討中。
 - Q4 次回申請もGAC早期警告やGACコンセンサスアドバイスは採用されるか。
 - A4 GAC早期警告やコンセンサスアドバイスはICANNの規約等に違反しないものとすべきであり、継続的な議論が必要。
- GACはICANN理事会に対して、ICANN理事会が新gTLDの最終報告書において決定を延期した項目に対してGAC早期警告とコンセンサスアドバイスを送った（GACコミュニケ※にも記載）。

※ https://gac.icann.org/advice/communiques/ICANN77_Washington_D.C._Communique.pdf

2. 主な議題 (3) その他

1. Closed Generics^{※1}

- “Closed Generics”については、ALAC、GAC、GNSO及びICANN理事会の有志による継続的な議論の結果、6月9日にClosed Genericsに関するフレームワーク案^{※2}が公表された。
- 会合期間中、“GAC-ALAC-GNSO Facilitated Dialogue Closed Generics”と称してこれまでクローズドだった有志の会合がオープンで開催された。会合では、フレームワーク案に関して「申請」、「評価」、「契約」の3つの項目に分けて議論が行われた。
- GACの新gTLDに関するセッションでも、“Closed Generics”は議題となり、Closed Genericsにおける「公共の利益」をどう評価すべきか等の点につき、引き続き検討すべきといった意見があった。

※1 申請者が独占的に利用可能なドメイン名。2012年のラウンドでは、Closed Genericsの申請は行われなかった。

※2 <https://gns0.icann.org/sites/default/files/policy/2023/draft/draft-framework-for-closed-generic-gtlds-08jun23-en.pdf>

2. 先端技術セッション (Emerging Technology Session)

- Chinese Taipeiの提案により、ブロックチェーンやAIなどの先端技術がDNSシステムへどのような影響を及ぼすのか、GACで議論することとなった。
- 次回のICANN78ハンブルグ会合で議論すべく、GACメンバーが関心を持つ先端技術について意見募集することが決まった。

3. GAC副議長選挙

- 次回会合において、GAC副議長（定数5名）選挙を実施することが発表された。

ご清聴ありがとうございました

